

2010年1月21日

## ランクセス、シンガポールのブチルゴム製造拠点 建設計画を前倒して再開

ランクセス株式会社

- ランクセス設立以来、最大規模の投資
- 2013年第1四半期から稼働開始
- トップレベルの製造プロセスを使用した年間製造能力10万トンの製造拠点
- 急速な自動車普及がタイヤの需要を後押し
- アジア地域の医薬品産業は高品質のブチルゴムを要求

世界有数の合成ゴムメーカーであるランクセス(LANXESS)は、シンガポールのブチルゴム製造拠点の建設計画を前倒して再開することを発表しました。着工式は2010年5月に行われ、稼働開始は2013年の第1四半期の予定です。年間10万トンの製造能力を持つシンガポール、ジュロン島の新拠点には、最大で約4億ユーロ(5億7,500万米ドル)の投資が見込まれています。

この新拠点は、中国とインドで顕著な中産階級層での急速な自動車普及によるタイヤの需要増加に対応します。またブチルゴムは、その卓越した特性により、医薬品産業において、特にアジア地域で高い需要があります。

ランクセスのCEOであるアクセル・ハイトマンは、次のように述べています。「世界最新のブチルゴム製造拠点建設プロジェクトの再開を嬉しく思います。ランクセス設立以来5年の歴史の中で最大規模のこの投資は、合成ゴム、顧客、アジア地域の成長市場へのコミットメントを明確に示しています」

シンガポール経済開発庁(EDB)の長官、レオ・イップ氏は次のように述べています。「シンガポールにおいて、アジア地域で最大のランクセスのブチルゴム製造プラント建設が前倒して再開になったことは非常に喜ばしいことです。この決定およびブチルゴムビジネスユニットのグローバル事業本部がシンガポールに移転することは、シンガポールがグローバル企業にとって世界およびアジア全域のビジネスを運営するための拠点として重要であることを示しています」

2009年6月、ランクセスは世界的な景気低迷を受け、同製造拠点の稼働開始を2014年に延期することを決定しました。この景気低迷は在庫削減や顧客注文の減少につながりましたが、過去

6 カ月間で世界のブチルゴム市場の需要は安定し、今後数年間は再び年間平均 3%以上の割合で成長すると予測されます。ベルギーのズヴァインドレヒトとカナダのサーニアにあるランクセス既存の 2 カ所のブチルゴム製造拠点においても、最近では高い操業率を維持しています。

タイヤ買い替え市場および新車製造量が徐々に回復するのに伴い、2011 年には世界のタイヤ売上高は経済危機以前のレベルに戻ると予測されます。この需要増加に応えるため、ランクセスの顧客である世界有数のタイヤメーカー各社は、BRICs 諸国(ブラジル、ロシア、インド、中国)の生産能力拡大を計画しています。タイヤメーカー各社は、ランクセスにタイヤ産業における高い環境基準と安全基準に対応する革新的なソリューションの提供を期待しています。

ハイトマンは、「ランクセスの東南アジア地域における活動のハブであるシンガポールに製造拠点の建設をすることを誇りに思う」と述べています。シンガポールは都市国家として、インフラが整備され、高いスキルを持つ人材が豊富で、原料の獲得が容易です。ランクセスは、シンガポール通商産業省の外郭団体であるジュロン・タウン公社(JTC)から製造拠点建設用に約 20 万平方メートルの土地をリースします。隣接するシェル社所有の石油精製所から、長期契約の一部としてランクセスのゴムプラントの主要原料であるイソプテンの原料の供給を受けます。さらにランクセスは、新拠点において約 200 人を新たに雇用する予定で、その大半は現地で採用され、建設ピーク時には建設現場で、約 1,500 人が雇用される予定です。

新拠点において、ランクセスはブチル製造の既存プロセスを徹底的に調査し、抜本的に見直したのち再設計を行いません。長年にわたり培ったランクセスのゴムの専門知識を活かした製造プロセスは業界でもトップレベルで、新ブチル製造拠点において一層のエネルギー効率、資源の効率利用、環境への配慮を実現します。

さらに、アジア地域で高まる需要に対応するため、今年中にブチルゴムビジネスユニットのグローバル事業本部をスイスのフリーボークからシンガポールに移転する計画です。マーケティング、コントロールリング、サプライチェーンなど世界全体の管理機能をもつこの事業本部には、移転後にまず約 35 人の従業員が携わります。ランクセスのブチルゴムの総売上高は、特に強い成長率をみせる中国、インド、韓国が牽引しているほか、半分以上をアジア地域が占めています。「2010 年、ランクセスは経済危機を乗り越えたアジア地域に特に注力していきます」とハイトマンは述べています。

ブチルゴムは、イソプテンとイソプレンを共重合した合成ゴムで、高い空気不透過性を備えています。主要用途は、タイヤ用インナーライナーおよびインナーチューブです。タイヤ業界において、ハロブチルは、自動車、トラック、バス、飛行機のタイヤ用のインナーライナーとして使用され、レギュラーブチルは、自動車、トラック、自転車、競技用球のインナーチューブとして使用されています。特殊用途としては防護服、医薬用ゴム栓などが挙げられます。また、ブチルゴムの興味深いニッチ市場の 1 例に、チューインガムが挙げられます。

ブチルゴムビジネスユニット(年間売上高 5 億ユーロ強)は、パフォーマンスポリマーズ部門(2009年の第3四半期の売上高:16億6,300万ユーロ)に属しています。

# # #

このリリースは、ドイツ・レバークーゼンで1月18日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

#### ランクセスについて

ランクセスは、世界23カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2008年の総売上は65億8000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約14,600人、世界中に46の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。 <http://www.lanxess.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

共同PR株式会社 第一業務局 時松、田中

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316

lanxesspr@kyodo-pr.co.jp

#### **免責について (Forward-Looking Statement):**

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なってくる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2010-00003J)